

令和6年2月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す げん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

令和5年度 防災講習会 2月4日(日):五代公民館

日曜日にご参加くださいました皆さん、有り難うございました!!



今年は大変な驚きの中で年明けを迎えることになりました。思いもせぬ能登半島地震の発生です。その日は、発生時刻頃に日課のウォーキングを始めましたが、スマホに次々とニュースの着信があり、最初はこれまでのような地震かと思っていたら、次第に深刻な状況が知らされ、90分後に帰って、テレビを見たときは、ウクライナやガザと同じような荒廃した光景が映し出されていて、身震いをしました。あらためて「災害はいつどこで発生するか分からない」ということを実感しました。それから、1か月が過ぎた状況で開催した防災講習会には、五代区をはじめ、45名程度の参加を得ることができました。警察と自衛官の両方の職の経験を持った総務・防災課の団講師が、はっきりした声で、そして自身の体験を交えて分かりやすく説明していただきました。地震に関する基礎的知識や、市のハザードマップの見方、形式的な備品のを備えだけでなく、災害時にはどうするかを自身の頭の中に蓄積しておくこと、さらに、これまでの経験を過信しすぎないことなどを話されました。そして、被災しても行政がすぐに駆けつけてくれるとは限らない、自助が一番重要であり、そのためには日ごろからの地域のつながりが大切だ、とも話されました。コロナ禍以後、大草野コミュニティでは避難訓練を実施できていませんが、



6年度は再度気持ちあらたにして、訓練に向き合っていくことが大切ではないかと思えます。例えば、能登半島地震では、

里帰りした家族が被災されるという悲しい出来事もありました。私達は自分の家族を守るために、自ら出来ることをしっかり頑張って行動していく必要があると思えます。市長も多忙な中、挨拶に駆けつけていただきました。みなさん、安心安全を目標に暮らしましょう。



漏斗岳登山道の下払い 2月11日(日):漏斗岳

コミュニティの役員会、大草野小PTAのメンバーで頑張りました！！



1週間ぐらい前の天気予報では、三連休の中で日曜日だけが雨の確率が高いようでしたが、私は晴れ男です、いい感じになりました。今年は、中野青少年育成部会長の声掛けで、PTAから役員3人が参加してもらい総勢9名で作業をしました。

昨年設置した、「こんな小さな山にこんなに立派な？」と思ってしまうような「漏斗岳登山道入口」の案内板を1年ぶりに見て、皆さんの気合も入りました。

上り始めるとすぐに数本の倒木があって、チェーンソー担当の香田副会長がさっそく登場して、下の写真のような作業を幾本も行いました。田中憲司さんは、急な斜面をもろとせず、草刈り機を肩にかけこの1年

で伸びた草を刈りながら登っていきました。『72歳じゃなかろう！』と感じました。登山道に沿って張っているロープは、やはり時が経てば緩みますので、締めなおしながらの登山です。山頂に着いたら、一足早く着いた草刈部隊が1mほど伸びた枯草をほぼ刈り終わるところでした。昨年立てた記念の寄せ書きの旗は、支柱が旗の下から折れていましたが、しっかり土台にくり付けてあったので、その場から飛んで行ってはいませんでした。この旗は、学



校にお返ししますので、いつか開催する同級会のネタにしてもらえればいいか、と思います。今年も、誰一人ケガすることも無く、78歳の宮崎顧問を筆頭に、12時には出発地点に無事に戻ることが出来ました。2月27日(火)が6年生のお別れ登山の予定です。保護者の方もたくさん登っていただき、子どもさんと共通の思い出を作っていただければと思います。毎年言いますが、頂上から眺めて「ザ・オオクサノ！」を是非感じていただきたいと思います。

^^ 編集後記 v v

絶賛取組中！

2月も中旬になりました。少しもゆつくりありません。というのも、5年度は、昨年度の「大草野お宝48」に引き続き「長崎街道視覚化事業」というのに取り組んでいるためですが、もう少し早くに始めればよかつたものを、師走の声を聞き始めた頃からスタートしたので、結局は自分の責任ではあるのですが・・・。

前年度の案内板の設置は、全部校区内ですが、今回は校区外にも「道標」をいくつか設置しようと思えますので、土地の所有者との調整も必要になります。でも、説明をしに行くこと、趣旨に賛同していただいで、皆さん快く了承していただきます。有難いことです。「長崎街道ひとり歩きガイドマップ」という冊子も作り、各家庭に配布しますので、ぜひ、そのガイドマップを手に長崎街道を歩いてみてください。往時の旅する人達の雰囲気は少しは味わうことが出来るかも知れませんが、街道筋の色々な名所旧跡から、自分の街の栄枯盛衰も推測し、垣間見ることが出来るかも知れません。他にも、冊子を見て「へえー」と思うところがあるかも知れませんが、二月にお届けしますので、あとしばらくお待ちください。まだまだ寒いですが、ご自愛ください。